札幌医科大学は、これまで北海道で唯一の公立医系総合大学として、 医師をはじめとする地域に貢献する多くの医療人を育成するととも に、先進医学・保健医療学の研究や高度先進医療の提供、さらには地 域への医師派遣等を通し、本道の医療・保健・福祉の充実・発展に貢

第3期中期目標(素案)

近年、北海道は、全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行 しており、かつて経験したことのない超高齢社会に直面している。そ れに伴い、人口構造等の変化や慢性疾患の増加といった疾病構造の変 化、更には、AIやIoTなどの情報科学技術の飛躍的な進展等、大 学の教育研究や病院を取り巻く環境も急激に変化しているところであ

る。 こうした社会構造や医療ニーズの質的変化、さらには地域における 医師不足や地域偏在等、本道の地域医療に関する諸課題に的確に対応 し、今後とも「進取の精神と自由闊達な気風」及び「医学・医療の攻 究と地域医療への貢献」という建学の精神の下、札幌医科大学が、健 康長寿社会の実現に向けて、本道の地域医療の確保や道民の健康の維持増進に貢献し、道民の誇りとなる大学であり続けることを目指すた め、次の6項目を基本とする第3期中期目標を定める。

- 附属病院に関する目標
- (1) 診療に関する目標

献してきた。

診療機能の改善・充実に向けた取組を積極的に実施し、高度救命 救急医療、がん医療、再生医療等の高度・先端医療など最高レベル の医療を提供するとともに、医療の安全体制の充実及び医療サービ スの向上に積極的に取り組む。

- 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- 1 運営に関する目標

大学の特色を生かしながら、地域医療への貢献等の大学の役割を 発揮するため、理事長・学長のリーダーシップの下、迅速な意思決 定を通じ、効果的・効率的で、かつ、責任ある大学運営を推進する。

- 第4 財務内容の改善に関する目標
- 財務基盤の確立に関する基本的な目標
- (1) 収入の確保に関する目標

科学研究費補助金など国や民間等の外部研究資金の獲得に積極的 に取り組む。

また、診療収入をはじめとする自己収入の更なる確保を図り、財 務基盤を強化することで、着実に財務内容の改善に取り組む。

(2) 経費の効率的執行に関する目標

業務全般及び組織体制の計画的見直しを進め、管理的経費等の一 層の効率的な執行により、経費の抑制を図る。

なお、次のとおり数値指標を設定する

運営費交付金を少なくとも前年度比●%縮減 など

【参考(第2期中期目標記載内容)】

設定内容 財務内容の改善 | 運営費交付金を充当して行う業務の効率化等 に取り組み、運営費交付金を少なくとも前年 度比1%縮減

札幌医科大学は、これまで北海道で唯一の公立医系総合大学として、 医師をはじめとする地域に貢献する多くの医療人を育成するととも に、先進医学・保健医療学の研究や高度先進医療の提供、さらには地 域への医師派遣等を通し、本道の医療・保健・福祉の充実・発展に貢 献してきた。

近年、北海道は、全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行 しており、かつて経験したことのない超高齢社会に直面している。そ れに伴い、人口構造等の変化や慢性疾患の増加といった疾病構造の変 化のほか、AIやIoTなどの情報科学技術の飛躍的な進展等、大学 の教育研究や病院を取り巻く環境も急激に変化しているところであ

る。 こうした社会構造や医療ニーズの質的変化、さらには地域における 大学の地域医療に関する諸連盟に的確に対応 医師不足や地域偏在等、本道の地域医療に関する諸課題に的確に対応 し、今後とも「進取の精神と自由闊達な気風」及び「医学・医療の攻 究と地域医療への貢献」という建学の精神の下、札幌医科大学が、健 康長寿社会の実現に向けて、本道の地域医療の確保や道民の健康の維 持増進に貢献し、道民の誇りとなる大学であり続けることを目指すた め、次の6項目を基本とする新たな中期目標を定める。

- 3 附属病院に関する目標
- (1) 診療に関する目標

診療機能の改善・充実に向けた取組を積極的に実施し、高度救命 救急医療、がん医療、再生医療等の高度・先端医療をはじめとする。 最高レベルの医療の提供に努めるとともに、医療の安全体制の充実

- 及び医療サービスの向上に積極的に取り組む。
- 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 運営に関する目標

大学の特色を生かしながら、地域医療への貢献等の大学の役割を 発揮するため、理事長のリーダーシップの下、迅速な意思決定を通 じ、効果的・効率的で、かつ、責任ある大学運営を推進する。

- 第4 財務内容の改善に関する目標
- 財務基盤の確立に関する基本的な目標
- (1) 収入の確保に関する目標

科学研究費補助金など国や民間等の外部研究資金の獲得に積極的 に取り組む。

また、診療収入をはじめとする自己収入の更なる確保を図り、財 務基盤を強化することで、着実に財務内容の改善に取り組む。

(2) 経費の効率的執行に関する目標

業務全般及び組織体制の計画的見直しを進め、管理的経費等の一 層の効率的な執行により、経費の抑制を図る。

なお、財務内容の改善について、次のとおり数値指標を設定する。

設定内容 目標値 財務内容の改善 業務の効率化等に取り組み、運営費 交付金を少なくとも前年度比1%縮 減(特別の事情がある場合を除

• 文言整理

「さらには」が全ての段落にあるため、整 理すること。

修正理由

(法制文書課指摘)

- ・闊達に「かっ」表示する。 (法制文書課指摘)
- · 文言整理

目標の表題に「第3期」がないため、文言 を戻す。(法制文書課指摘)

文言整理

文章構造が不明確なため。 (法制文書課指摘)

• 文言修正

兼任であれば、中黒「・」で表示するのは 不適切との指摘を受け、修正。 (法制文書課指摘)

・文言補足

(従来のままでは、(2)にのみ、数値指標が掛 かってしまうため、全体に掛かるよう修正。) (法制文書課指摘)

文言整理

※前期同様「運営費交付金を充当して行う業 務」と表現した場合、交付金の算定ルールと齟齬 が生じることから、誤解を招く表現を削除。

また、運営費交付金に関しては、中期目標 期間中において、状況の変化等により見直す 場合があることから、より適切な表現を追加 (第2期中において、電気料金改定影響額な どを1%縮減の対象外とした経緯あり。)